



芦田川橋
国土交通省 中国地方整備局

おかげさまで

60
周年



株式会社富士ピー・エス

第63期

FPS REPORT

2014.4.1 - 2014.9.30

経営理念

私たちはプレストレスト・コンクリート技術で、
安全・安心な国家建設に貢献します

社訓

一我々は 福祉国家建設の一翼を
担って社会に奉仕しよう

一我々は 技術を究め創意をこらし
自己の責任を完遂しよう

一我々は 和信協同し企業の繁栄と
共に幸福を創り出そう



建 築

31.5%



土 木

67.4%



売上
構成比

人にあたたかい
空間づくりをめざして

おかげさまで創立60周年

おかげさまで、富士ピー・エスは本年60周年を迎えることができました。これは、全国のステークホルダーの皆様からのご支援の賜物であると厚くお礼申し上げます。

当社は、戦後の日本がようやく動き始めた時期であります昭和29年に、安川第五郎初代会長と真貝貫一初代社長が発起人会でPC工法の優位性や将来性、事業の確実性を意気揚々と述べ、全国財界の支援を受けて誕生しました。とはいえ当時は、PC工法は社会への認知も殆どなく、その基礎技術も発展途上で、手探りの状態だったと思います。従業員27人の小さな会社でのスタートでしたが、全員が大きな志を持ち、愚直に努力し社業発展に取り組んだに相違ありません。



代表取締役社長
菅野 昇孝

代表取締役会長
長尾 徳博

代表取締役副社長
内野 寛

ん。後に社訓となる「社会への奉仕」「技術の研鑽」「和信協同」の理念はその後、育まれて当社の企業風土になっています。

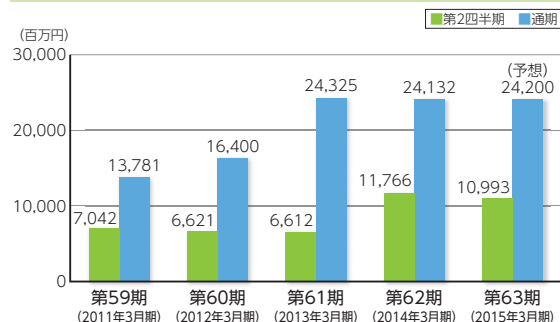
その後は国の高度経済成長にも支えられて成長して参りましたが、近年では公共投資の長期低迷、競争環境の劇的変化など大変厳しい経営環境も経験しました。事業は「需要と供給」で成り立っています。環境の変化をいち早く察知し、需要に即した供給体制を整えること、企業経営には「フレキシブルな対応」が重要であることを実感しました。

現在、少子高齢化の進展、技能労働者の不足、公共事業の急増、インフラの老朽化など大きな社会環境の変化が起きています。これらの変化に柔軟に対応することが、次のステップへの大きな試練であると思っております。富士ピー・エスはこれからも創業時の経営理念を貫き、社会資本整備を通じて社会の「安全と安心」に貢献して参る所存でございますので、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

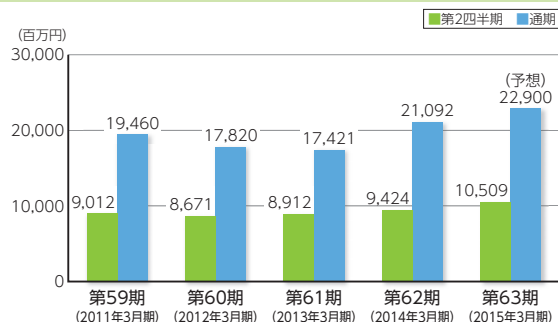
財務ハイライト

中間期受注高は、橋梁工事の発注時期のズレなどにより当初計画を下回るも、手持ち工事の順調な進捗により増収増益。純利益については、前年同四半期の特別利益（課徴金等引当金戻入など）の反動減により減益。

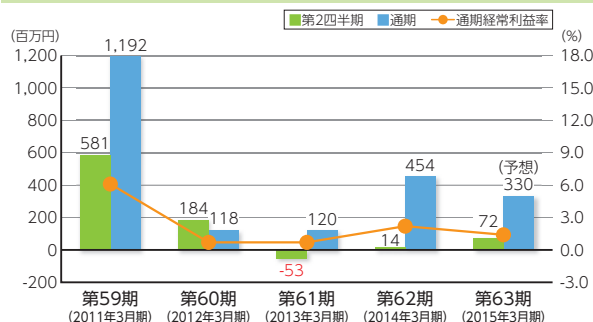
受注高



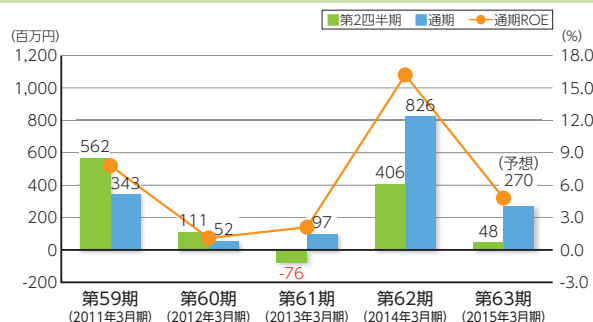
売上高



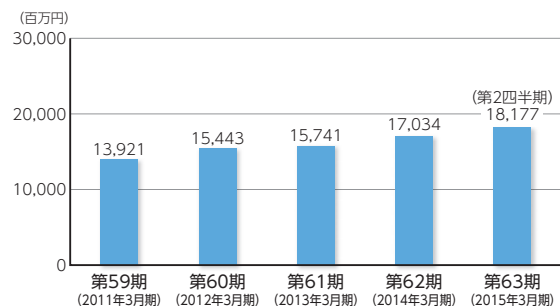
経常利益・経常利益率



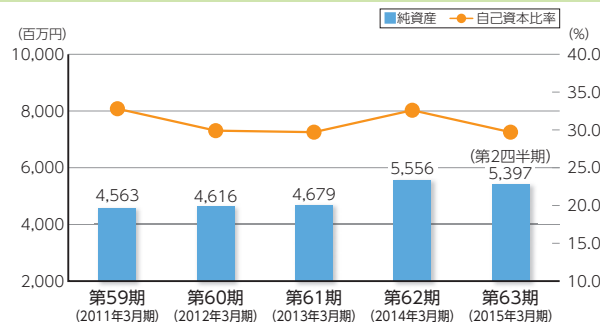
当期純利益・自己資本利益率(ROE)



総資産



純資産・自己資本比率



※第61期より連結財務諸表を作成しております。

セグメント情報

土木事業

受注高

6,428百万円



前年同四半期比 12.0%減

売上高

7,087百万円



前年同四半期比 22.0%増

セグメント利益
(売上総利益)

680百万円



前年同四半期比 84.8%増

売上構成比

67.4%

土木事業は、多様化する総合評価落札方式への徹底した対応の強化に努めました。また、連結子会社の(株)シーピーケイの事業活動も順調に推移いたしました。

この結果、受注高は6,428百万円(前年同四半期比12.0%減)、売上高は7,087百万円(前年同四半期比22.0%増)、セグメント利益は680百万円(前年同四半期比84.8%増)となりました。

土木事業の紹介

下音羽川橋(大阪府茨木市)

西日本高速道路株式会社 関西支社
PRC4径間連続(ラーメン)波形鋼板ウェブ箱桁橋

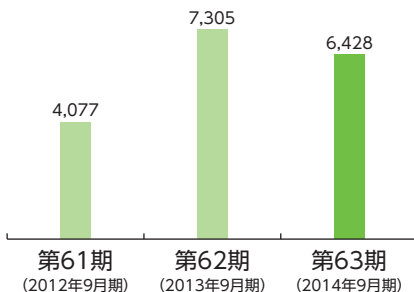
新名神高速道路は、名古屋を起点とし神戸市に至る延長約174kmの高速道路で、時間短縮と緊急時の代替道路機能を目的として建設されています。

茨木北ICと高槻第一JCTの間の山間部に位置し、橋脚から移動作業車を用いて順次施工を行う張出架設工法で施工されています。箱桁の側面には軽量化を目的に波形鋼板を使用する構造が採用されており、本年10月には上り線が繋がったことから、関係者多数の出席の中、閉合式が厳かに執り行われました。下り線も順調に進んでおり12月の閉合を目指し鋭意施工中です。



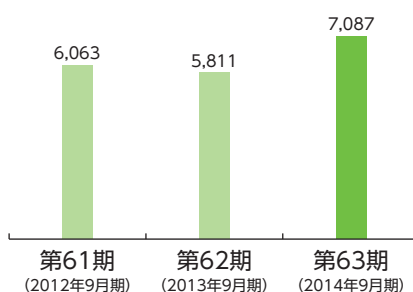
受注高

(単位: 百万円)



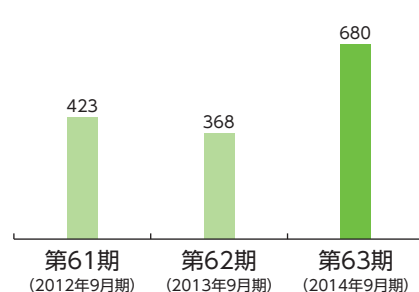
売上高

(単位: 百万円)



セグメント利益

(単位: 百万円)



セグメント情報



建築事業は、回復基調が継続しているマンション事業や政府が推進する学校施設及び住宅の耐震補強事業の営業強化に努めました。

この結果、受注高は4,328百万円（前年同四半期比2.5%増）、売上高は3,306百万円（前年同四半期比5.4%減）、セグメント利益は483百万円（前年同四半期比14.0%減）となりました。

建築事業の紹介

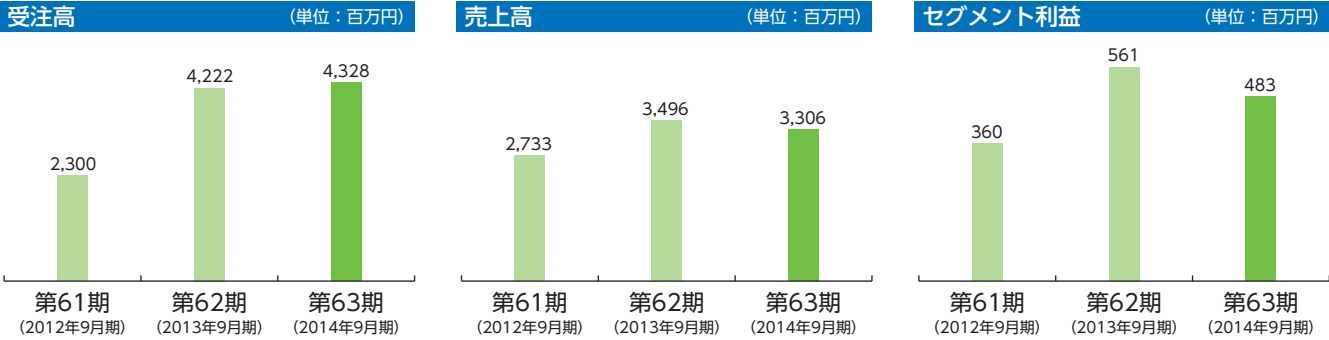
品質と経済性に優れた建築製品を生み出す

主要都市部の都市再生再開発事業の超高層マンションに採用されている当社開発のプレストレストコンクリート床版（FR板）は堅調に顧客を確保し、施工実績を増やしています。

新規参入したPcaPc事業は、研究施設、Pca壁式住宅、店舗・倉庫等の施工実績を増やしています。今後も営業強化を図り、受注拡大を目指しています。



豊洲地区3-2街区B3街区計画（東京都江東区：FR板納入）



建築分野での「住宅向け耐震補強事業」の拡大

耐震補強事業の紹介

耐震性能と好環境・景観性を高次元で実現

●パラレルユニットフレーム構法

斜めPC鋼材を応用した外付け耐震補強工法であるパラレルユニットフレーム構法は、学校・病院・庁舎などの公共施設や共同住宅を外部から「居ながら補強」できる画期的な工法です。補強フレーム内に配置した斜めPC鋼材は、高耐力でかつ高い復元力特性を持ちながら、直径が最大でも40mmと細く、補強後も採光・通風を妨げることがありません。

さらに、既存建物との接合部に鋼管コッターを使用して騒音・振動・粉塵の発生を極限まで低減させたスマイルパラレル工法を開発し、主に共同住宅に採用されて高い評価を受けています。

また、高層建築物に対応するため、復元力特性とエネルギー吸収能力を併せ持つハイブリッドPC鋼棒ダンパの構造性能評価を取得しており、工法の拡充に努めています。



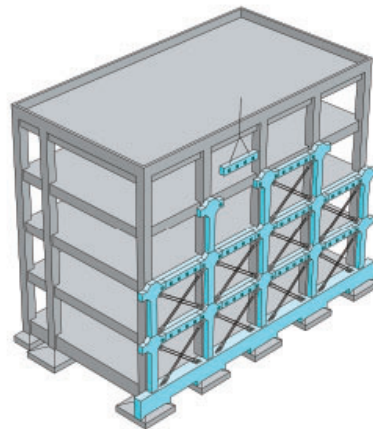
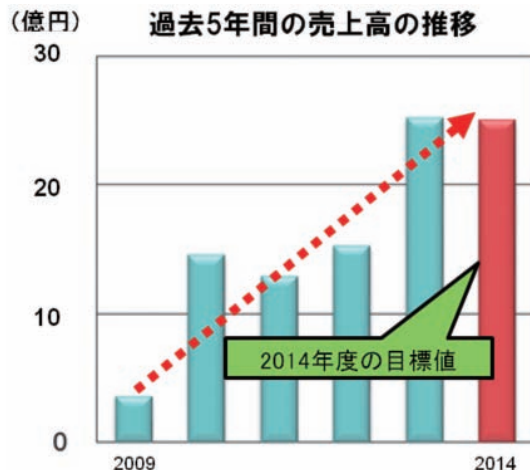
大阪府住宅供給公社加守団地（大阪府）



王寺工業高校（奈良県）



尾道市立日比崎中学校（広島県）



トピックス

オンリーワンの技術で社会資本づくりに貢献

表彰工事等の紹介

当社施工橋梁が発注機関や学会から表彰を受けました。これからも「安全と安心」を企業ブランドとして確立し、優れた技術と豊かな経験をもとに社会資本づくりに貢献してまいります。

①優良工事表彰（国土交通省 中国地方整備局 局長表彰）



工 事 名：尾道・松江自動車道芦田川橋PC上部工事
発 注 者：国土交通省 中国地方整備局
施工内容：PC3径間連続ラーメン箱桁橋



優秀建設技術者賞も併せて受賞

②田中賞（公益社団法人 土木学会）



工 事 名：仙台市高速鉄道東西線 広瀬川橋りょう外工区
土木工事
発 注 者：仙台市交通局
施工内容：PRC3径間連続ラーメン箱桁橋（JV工事）



60年のあゆみを伝える

創業開始から現在まで、当社が歩んできた歴史を振り返り、その軌跡をまとめて60年史を発刊しました。

ホームページには60年のあゆみを映像（DVD）として編集、掲載しました。今後も技術研鑽に励み、次の10年を見据えて社業発展に努めてまいります。

60年史を発刊しました



60年のあゆみを動画コンテンツにまとめました



年代	主な沿革
1954	九州地区のプレストレスト・コンクリート事業の先駆けとして、福岡市天神町に九州鋼弦コンクリート株式会社設立
1954	福岡県筑紫郡山家村に山家工場を設置し、PC製品の製造を開始
1965	プレハブ部を新設し、コンクリートプレハブ建築事業へ進出
1970	福岡市に福岡支店（現 九州支店）、建築事業部（現 建築本部）設置
1972	社名を富士ピー・エス・コンクリート株式会社に変更
1988	土木建築用資機材の効率的調達を図るため、富士興産株式会社を設立
1991	社名を株式会社富士ピー・エスに変更
1993	福岡証券取引所に株式上場
1996	メンテナンス市場への積極的参画、事業拡大のため、株式会社富士メンテを設立
1996	大阪証券取引所（現 東京証券取引所）市場第二部に株式上場
2000	決算期日を9月30日から3月31日に変更
2008	福岡県常磐地区に密着した企業活動を展開するため、いわき工場の運営会社として株式会社常磐ピーシーを設立
2008	富士興産株式会社を吸収合併
2011	株式会社常磐ピーシーを吸収合併
2012	株式会社シーピーケー（現 連結子会社）の全株式を取得
2014	60周年

ホームページにてご覧になれます。

<http://www.fujips.co.jp/>

財務諸表

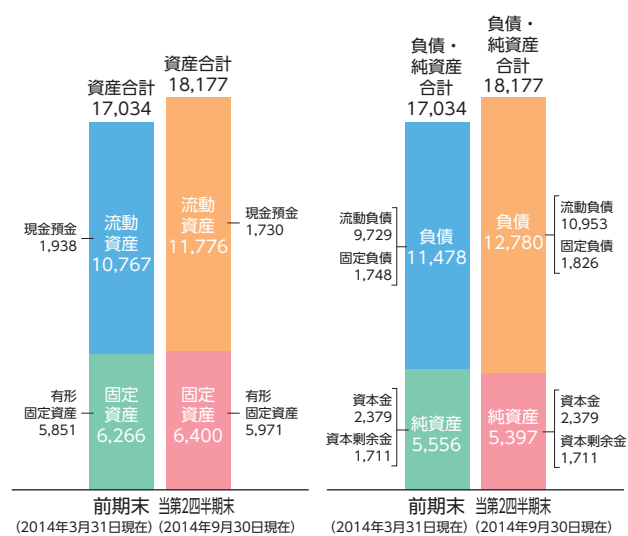
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期（累計） (2014年4月 1日から 2014年9月30日まで)	前第2四半期（累計） (2013年4月 1日から 2013年9月30日まで)	増減率（％）
売上高	10,509	9,424	11.5
売上原価	9,285	8,434	10.1
売上総利益	1,223	989	23.6
販売費及び一般管理費	1,146	974	17.5
営業利益	77	14	420.7
経常利益	72	14	408.2
四半期純利益	48	406	△88.2

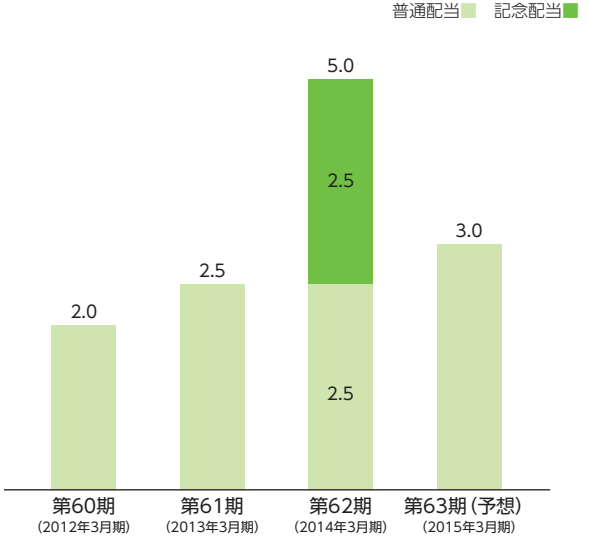
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



配当金の推移

(単位：円)



第62期期末配当は、60周年記念配当2円50銭を含んでおります。

会社概要 (2014年9月30日現在)

会社の概況

商号	株式会社 富士ピー・エス (英訳名 FUJI P.S CORPORATION)
設立	昭和29年3月19日
資本金	23億7,927万円
従業員数	360名 (事務・営業114名、技術・現業246名) ※2014年9月30日現在
事業内容	特定建設業 (土木工事、建築工事) プレストレスト・コンクリート (PC) 技術を用いた 土木・建築事業の請負、企画、設計、施工監理 並びにPC製品の設計、製造、販売 1. 土木事業 橋梁 (道路・鉄道橋) 工事、PCタンク工事、耐震補強 工事、メンテナンス工事など 2. 建築事業 FC・FR板の製作・敷設指導、耐震補強工事、PcaPc建 築工事、PCリング及びPC緊張工事 3. その他事業 PC軌道マクラギ、PC矢板、PC梁・柱などの製造、販売

役員

代表取締役会長	長尾 徳博	常勤監査役	田中 耕二
代表取締役社長	菅野 昇孝	常勤監査役	田代 真人
代表取締役執行役員副社長	内野 寛	監査役	北島 光比古
取締役執行役員副社長	藤本 良雄	監査役	新関 輝夫
取締役常務執行役員	江里口 俊郎	常務執行役員	白石 博昭
取締役常務執行役員	田中 恭哉	常務執行役員	桑原 安男
取締役常務執行役員	堀 忠彦	執行役員	深谷 浩史
取締役	吉迫 徹	執行役員	上野 貴司
取締役	庄崎 秀昭	執行役員	梅林 洋彦
取締役	堀川 和夫	執行役員	内野 英宏
		執行役員	油田 康生
		執行役員	池田 秀雄

(注) 1. 吉迫徹、庄崎秀昭、堀川和夫の3氏は、社外取締役であります。
2. 田中耕二、北島光比古、新関輝夫の3氏は、社外監査役であります。
3. 監査役 新関輝夫氏は東京証券取引所、福岡証券取引所の定めに基く独立役員として指定し、両取引所に届け出ております。

主要事業所

本店	福岡市中央区薬院一丁目13番8号 九電不動産ビル 〒810-0022 TEL092(721)3471(代)
支店	九州支店、関西支店、関東支店、東北支店、 広島支店、名古屋支店
工場	九州小竹工場、三重工場、関東工場、東北工場、 いわき工場
営業所	全国21カ所
連結子会社	株式会社 シーピーケイ (PCマクラギの製造、販売) 本社：大阪市淀川区西中島七丁目16番76号 滋賀工場：滋賀県東近江市五個荘和田町123番地

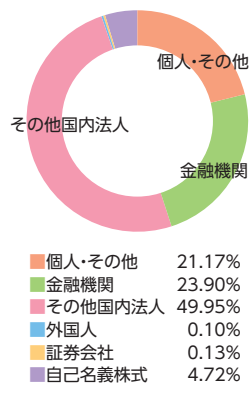
株式概要 (2014年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	53,000,000株
発行済株式の総数	18,602,244株
株主数	654名

株主名	持株数	持株比率
太平洋セメント株式会社	3,721千株	20.00%
住友電気工業株式会社	2,383千株	12.81%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・九州電力株式会社口)	2,309千株	12.42%
西日本鉄道株式会社	773千株	4.16%
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託神鋼鋼線工業口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	722千株	3.88%
富士ピー・エス東京取引先持株会	652千株	3.50%
富士ピー・エス福岡取引先持株会	557千株	2.99%
富士ピー・エス大阪取引先持株会	538千株	2.89%
株式会社三井住友銀行	477千株	2.57%
鈴木金属工業株式会社	423千株	2.27%

(注) 1. 当社は、自己株式を879千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。



株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部
証券会員制法人福岡証券取引所

公告方法 当社のホームページに掲載(電子公告)し、止むを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞にて公告する。
(<http://www.fujips.co.jp/kohkoku/index.html>)

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

(ご注意とお願い)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- ①単元未満株式(1,000株未満)及び②特別口座(三井住友信託銀行)

で管理されている株式は市場で売却することができません。株主様の利便性を図るため次の事項をお勧めいたします。

- ①単元未満株式につきましては、買取・買増制度をご利用ください。
- ②特別口座(三井住友信託銀行)で管理されている株式につきましては、証券会社等で管理される口座管理機関への変更をお勧めいたします。
- ④単元未満株式の買取・買増につきましては、当社は手数料を無料としておりますので、株主様におかれましては、ご利用をお願い申し上げます。
- ⑤ご不明な点がありましたら、上記株主名簿管理人または当社総務部(092-721-3471)にお問い合わせください。

人にあたたかい空間づくりをめざして



株式会社富士ピー・エス

URL <http://www.fujips.co.jp/>

